

主催：近畿経済産業局/アジア太平洋研究所 & ものここと双発協議会
後援：日本を元気にする産業技術会議（予定）

- ・現在、各国でIoTの進展等を背景に、モノづくりとサービスがポータルに融合した新たなビジネスモデルが生まれつつあり、これらの動きは、今後、我が国経済の迫力ある成長に欠かせない牽引力となることが予想されます。
- ・このような中、2014年から「ものここと双発協議会・ものここと双発学会」が設立され、製品単体からサービスを織り込んだ総合的な価値生産への転換（いわゆるモノとコトの融合）の理論的研究が行われているところです。
- ・また、近畿経済産業局とアジア太平洋研究所では、昨年より実験的な取組として、全く異なる業種による新発想ビジネスを検討する「MIRAIDEA」研究会を推進しております。
- ・本フォーラムは、これらの活動から分かった方法論や課題について問いかけ、また、モノ・サービスが融合した新ビジネス創出を志向する先進企業からのメッセージから、共にMIRAIのビジネス創出方法を考えるものです。本フォーラムを機に、様々な業種の垣塙たる関西から多くの化学反応が生まれることを期待します。

■挨拶

●主催者メッセージ： 長島 徹 ものここと双発協議会理事長（帝人株式会社 相談役）

■基調講演「ものコト双発の時代」

「イノベーションを起こすための もの・こと・人づくり（仮題）」

●東京理科大学 田中 芳夫 教授（研究推進機構・総合研究院 ものここと双発研究部門長）

■特別報告1：ダイキン工業が挑戦する未来の空気ビジネス（仮題）

●ダイキン工業（株） 河原 克己 氏（テクノロジー・イノベーションセンター副センター長）

■特別報告2：コマツが描く次世代の建機ビジネス（仮題）

●コマツ（株）小松製作所 高村 藤寿 氏（取締役 専務執行役員）

■壇上論議「次世代型ビジネス創出の極意とMIRAIDEA研究会」

●大和ハウス工業（株）池端 正一 氏（総合技術研究所 フロンティア技術研究室 室長）

●吉本興業（株） 木村 深雪 氏（社長室/（株）きょうのようしもと代表取締役社長）

●（株）アシックス 坂本 健 氏（経営企画室ウェアラブルデバイス事業推進チーム）
（モデレーター）

●近畿経済産業局 関 総一郎 局長

定員：130名（満員になり次第締め切り）

入場
無料

場所



ナレッジキャピタル
コングレコンベンションセンター
（グランフロント大阪
北館B2Fルーム1・2）

JR大阪駅
阪急/阪神地下鉄梅田駅

日時

平成28年 5月30日（月） 14:00-16:40

（開場13:30-17:00）

申込み先・問い合わせ先

http://www.kansai.meti.go.jp/2-7it/events/IoT_BusinessForum20160530.html

●ハイパーリンクはここ

近畿経済産業局情報政策課

TEL 06-6966-6015

FAX 06-6966-6097

FAXによる申込み：氏名、所属、連絡先を記入の上、モノ・サービス融合フォーラム参加希望とお書きいただき送付下さい

モノ作りとサービス融合の時代へ

IoT時代の未来志向のビジネスモデル

緊急！
フォーラム



IoT時代の未来志向のビジネスモデル モノ作りとサービス 融合の時代へ

参加申込み

URL

http://www.kansai.meti.go.jp/2-7it/events/IoT_BusinessForum20160530.html



[●ハイパーリンクはここ](http://www.kansai.meti.go.jp/2-7it/events/IoT_BusinessForum20160530.html)

FAX

FAX 06-6966-6097

近畿経済産業局情報政策課

氏名	組織名 所属・役職等	電話番号	E-mail

備考等 _____

平成28年 5月30日 (月) 14:00-16:40

於：グランフロント大阪 北館B2F